

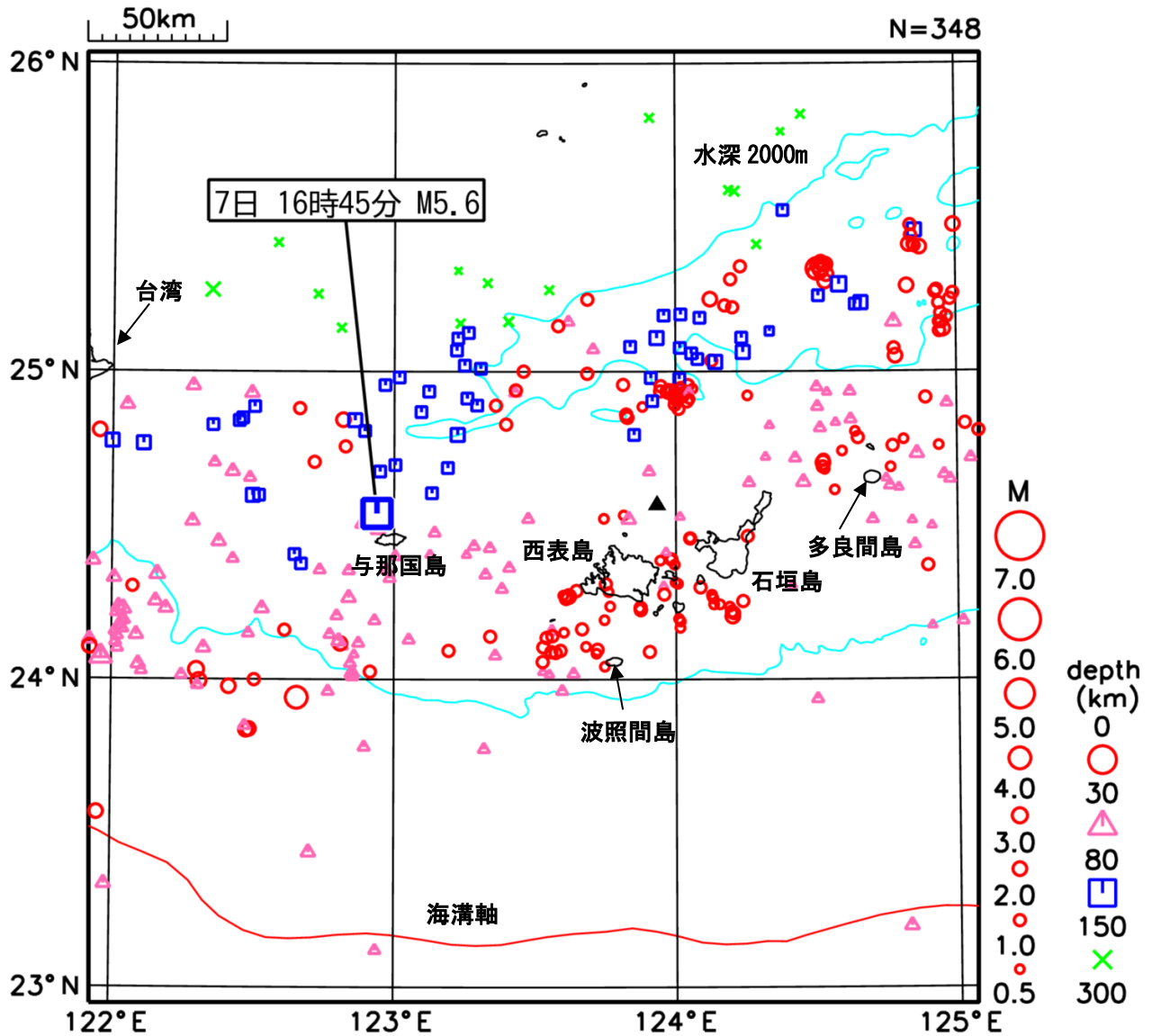
八重山地方の地震活動

令和7年(2025年)8月

石垣島地方気象台

震央分布図

2025 08 01 00:00 -- 2025 08 31 24:00



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
▲ : 活火山
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

[概況]

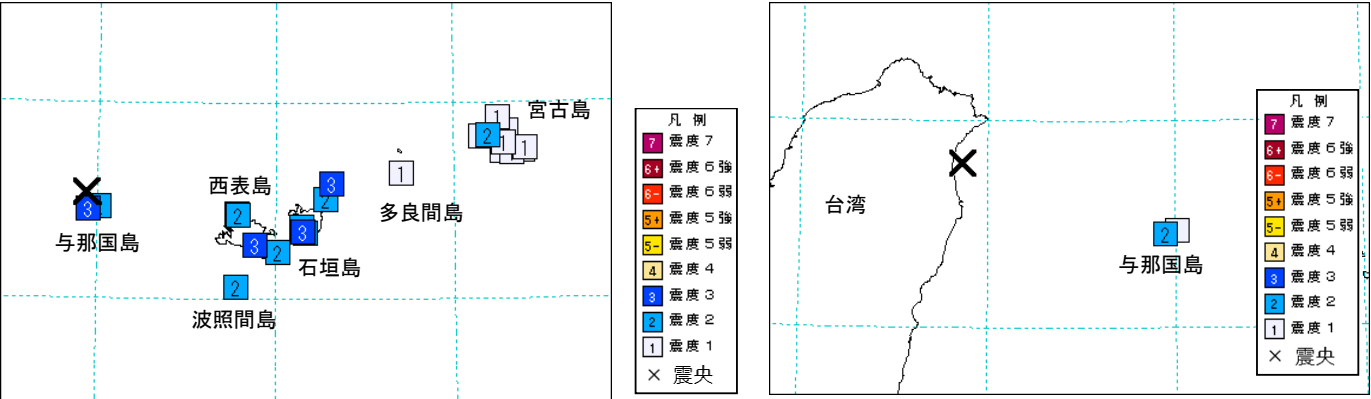
今期間(8月)、震度1以上を観測した地震は2回でした(7月は1回)。

8月の主な活動は次のとおりです。

7日16時45分に与那国島近海で発生した地震(M5.6、深さ106km)により、石垣市、竹富町(西表島)および与那国町で震度3を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(次頁、別紙参照)。八重山地方で震度3以上を観測したのは、2025年4月18日に西表島付近で発生したM4.3の地震(最大震度3)以来です。

27日22時10分に台湾付近で発生した地震（M5.3、深さ113km、震央分布図範囲外）により与那国町で震度2～1を観測しました（下図参照）。

〔震度分布図〕



八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：8月1日～31日）

震源時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
各地の震度					
2025年08月07日16時45分	与那国島近海	24°32.3'N	122°56.3'E	106km	M5.6
沖縄県	震度3：石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 与那国町久部良, 竹富町大原				
	震度2：宮古島市伊良部前里添, 石垣市登野城, 石垣市新川, 石垣市伊原間*, 与那国町祖納 竹富町黒島, 竹富町波照間, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*				
	震度1：多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間 宮古島市上野新里, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地* 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港*				
2025年08月27日22時10分	台湾付近	24°47.6'N	121°52.0'E	113km	M5.3
沖縄県	震度2：与那国町久部良				
	震度1：与那国町祖納				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

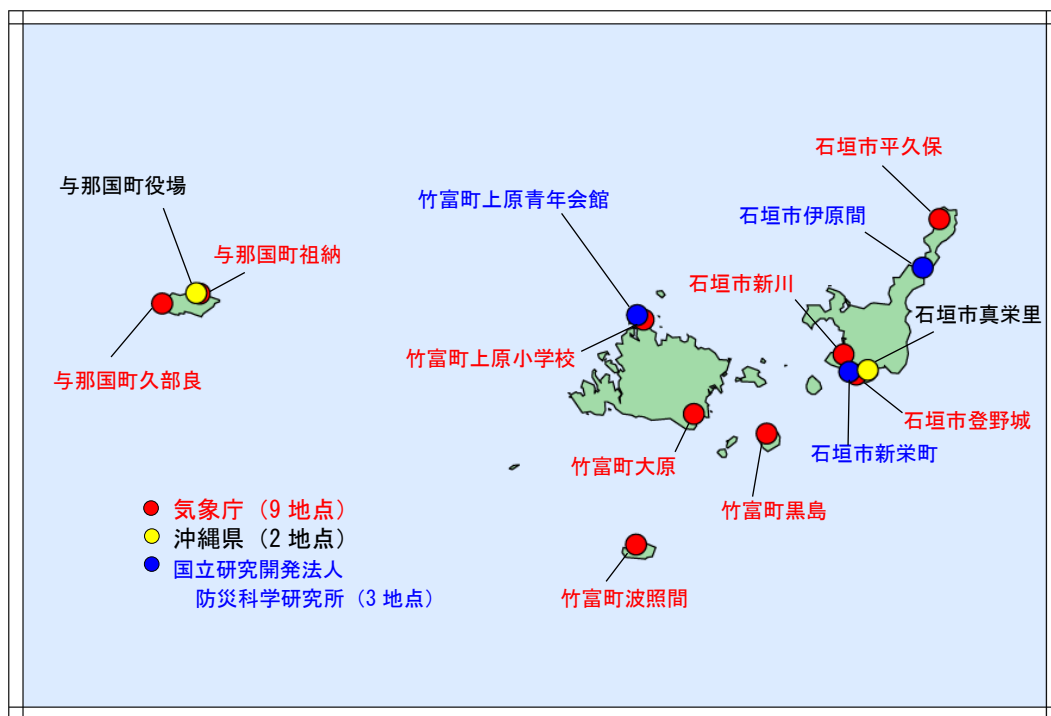
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」
をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170



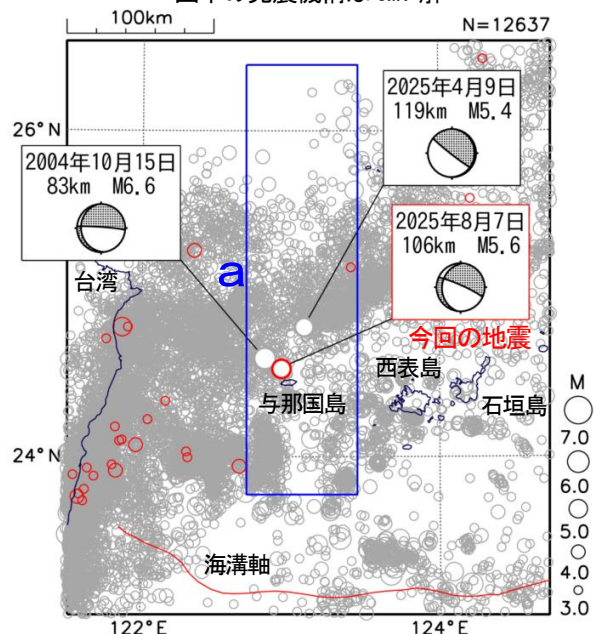
8月7日 与那国島近海の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2025年8月31日、
深さ0～300km、 $M \geq 3.0$)

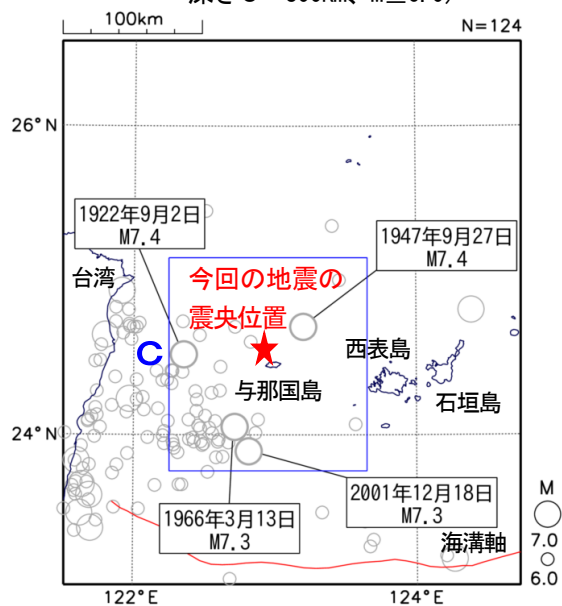
2025年8月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

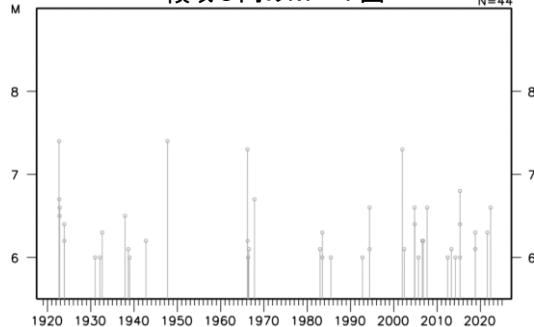


震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、
深さ0～300km、 $M \geq 6.0$)



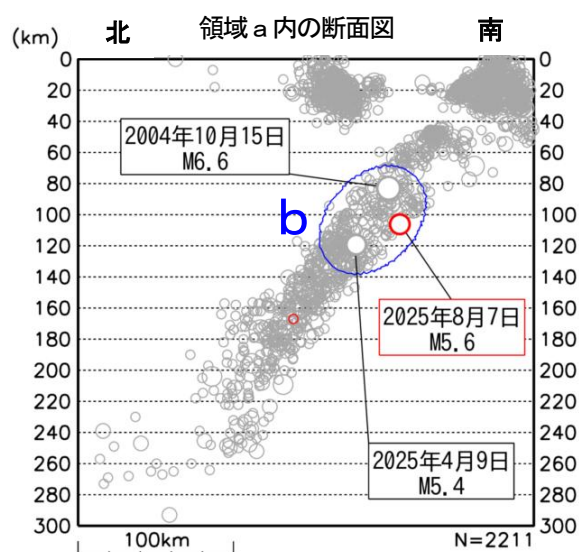
領域c内のM-T図



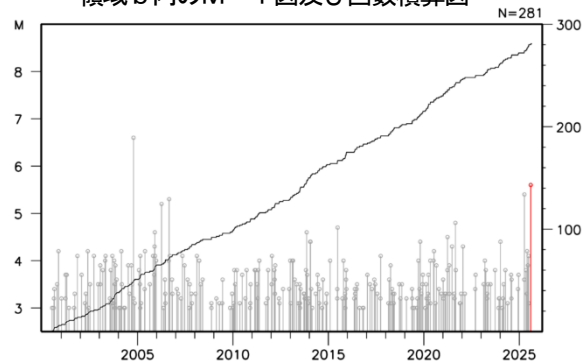
この期間は検知能力が低い

2025年8月7日16時45分にと那国島近海の深さ106kmでM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、北東－南西方向に張力軸を持つ型であった。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2004年10月15日にM6.6の地震が発生し、与那国町で震度5弱を観測した。また、2025年4月9日にM5.4の地震が発生し、石垣市、竹富町（西表島）で震度3を観測した。



領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1947年9月27日にM7.4の地震が発生し、死者5人の被害が生じた。また、1966年3月13日のM7.3の地震が発生し、死者2人（台湾で死者4人）の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。